

# 「早期声門癌におけるMACC1の発現と予後の関連」へのご協力をお願い

—2021年6月1日から2025年3月31日までに当科および研究協力施設において早期声門癌の治療を受けられる方へ—

研究機関名 岡山大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

責任研究者 岡山大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教 牧野琢丸

分担研究者 姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科 部長 橘智靖

医師 小松原靖聡 黒田一範

専攻医 直井勇人

## 1. 研究の意義と目的

早期声門癌は比較的予後の良い悪性腫瘍ではありますが、なかには治療に抵抗し再発する予後の悪い場合もあります。悪性度を調べる指標があれば、その後の治療について役立つと思われますが、現在のところその悪性度を調べる手段はありません。我々は大腸癌の予後不良因子であるMetastasis Associated with the Colon Cancer 1(MACC1)が早期声門癌においても悪性度の指標になるのではないかと考え、早期声門癌におけるMACC1の発現と予後の関連について調べることに致しました。この研究を行うことにより、早期声門癌においてMACC1が予後不良因子となり得るか明らかとなります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象：

姫路赤十字病院および研究協力施設の耳鼻咽喉・頭頸部外科で診療を行っている早期声門癌の患者様

### 2) 調査期間：

2021年6月1日から2025年12月31日まで

### 3) 研究方法：

- 2021年6月1日から2025年12月31日までの間に当院および研究協力施設において早期声門癌と診断され治療を受けられる患者さまで、研究者が診療情報をもとにデータを選び解析し、検査や手術で摘出した組織を用いて特殊な染色方法などを用いて予後因子を調べます。

### 4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢、性別、既往歴、喫煙歴、飲酒歴
- 診察所見、治療内容、血液検査や各種画像検査（X線、CT、MRI、PET/CT、超音波検査など）、手術記録、病理検査などの検査データ
- 検査や手術で摘出した組織

### 5) 情報の保護：

調査情報は姫路赤十字病院耳鼻咽喉科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年12月まで

の間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科

氏名：橋 智靖、小松原靖聡、黒田一範、直井勇人

電話：079-294-2251 ファックス：079-296-4050